

本協力者会議においては、保育現場に必要な専門性や研修事例等を踏まえつつ、保育士のキャリアパスを見据えて、リーダー的な役割を求められる職員に対する研修の体系化について議論を行い、以下のとおり、中間的な議論の整理として取りまとめた。

【研修分野について】

保育現場において専門的な対応が求められる「乳児保育」、「幼児教育」、「障害児保育」、「食育・アレルギー対応」、「保健衛生・安全対策」及び「保護者支援・子育て支援」の6分野について、リーダー的職員の育成のための研修が必要。

リーダー的職員としての経験を経て、ミドルリーダーの役割を担う保育士については、マネジメントやリーダーシップに関する研修が必要。

専門分野別の研修に加え、保育士試験合格者や潜在保育士が受講できるような「保育実践」の研修を設けることも検討。

< 保育士キャリアアップ研修 (仮称) のイメージ >

【実施主体】 都道府県等 (委託等により実施することも想定)

【日数・時間】 1分野につき15時間程度 (2日～3日程度)

【研修内容】

研修分野	乳児保育 (主に0歳から3歳未満児向けの保育内容)	幼児教育 (主に3歳以上児向けの保育内容)	障害児保育	食育・アレルギー対応	保健衛生・安全対策	保護者支援・子育て支援
研修内容 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義 ・乳児保育の環境 ・乳児への適切な関わり ・乳児の発達に応じた保育内容 ・乳児保育の指導計画 記録及び評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の意義 ・幼児教育の環境 ・幼児の発達に応じた保育内容 ・幼児教育の指導計画 記録及び評価 ・小学校との接続 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解 ・障害児保育の環境 ・障害児の発達の援助 ・家庭及び関係機関との連携 ・障害児保育の指導計画 記録及び評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養に関する基礎知識 ・食育計画の作成と活用 ・アレルギー疾患の理解 ・保育所における食事の提供ガイドライン ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画の作成と活用 ・事故防止及び健康安全管理 ・保育所における感染症対策ガイドライン ・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援・子育て支援の意義 ・保護者に対する相談援助 ・地域における子育て支援 ・虐待予防 ・関係機関との連携 地域資源の活用

	マネジメント
研修内容 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントの理解 ・リーダーシップ ・組織目標の設定 ・人材育成 ・働きやすい環境づくり

	保育実践
研修内容 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現に関する知識や技術 ・音楽表現に関する知識や技術 ・造形表現に関する知識や技術 ・言語表現等に関する知識や技術 ・教材等の活用及び作成と保育の展開